

海外安全対策情報（令和3年度第2四半期分）

1. 社会・治安情勢

令和元年11月15日、イラン政府がガソリン価格の引上げを発表したことに伴い、イラン各地において、数日間に亘って抗議行動が発生し、一部地域においては、ガソリンスタンド、銀行、政府施設等が襲撃されたと報じられました。イラン政府は、これを受けて、治安回復のための厳しい措置を徹底し、さらに全面的にインターネット接続を遮断するなどして事態の沈静化を図りました。しかし、イラン政府の発表によれば、この抗議行動で230名が死亡した由であり、大きな被害が生じました。また、テヘラン州、フーズスタン州等の複数地域においては、給与未払問題等の経済問題に端を発した抗議行動も引き続き発生しています。

イラン国内におけるテロ・襲撃事件については、平成29年6月7日にテヘラン市内の国会事務所建物内及びイマーム・ホメイニ廟周辺において、複数の武装グループによる銃撃や自爆攻撃により18名が死亡、約50名が負傷する事件が発生しました。また、平成30年9月22日には、南西部フーズスタン州アフヴァーズ市において、軍事パレードに対する銃撃事件（25名が死亡、60名以上が負傷）が発生しました。その後、南東部、南西部含むイランの南部地域においては、襲撃事案等が断続的に発生し、同年12月6日には南東部シスタン・バルチスタン州チャーバハール市の警察本部に対する自動車爆弾攻撃が発生（治安機関員2名が死亡）、平成31年2月13日には同州ハーシュ市～ザヘダン市間の道路において、革命ガードのバスに対する自爆攻撃（車両利用）が発生（革命ガード兵27名死亡）するなどしました。武装組織・テロ組織と治安機関の戦闘が散発している北西部及び西部を含め、今後の同地域におけるテロ・グループの動向を引き続き注視する必要があります。テヘランにおいても、令和2年8月7日には、テヘラン市パスダラン地区における銃撃事件が報じられ、同年11月27日には、テヘラン東方約60kmの距離に位置するダマーヴァンド市付近で、ファフリザーデ国防軍需省研究刷新機構長官の殺害事件が発生しています。

また、依然として、殺人、強盗、窃盗、性犯罪等の一般犯罪の発生もイラン国内の広い範囲で多々報じられていることから、イラン国内における行動については、十分に注意が必要です。

さらに、最近のイランをめぐる国際情勢及び新型コロナウイルス（COVID-19）の感染状況についても十分注意が必要です。

安全関連情報等については、当館から必要に応じて注意喚起情報を発出しておりますが、定期的に最新の報道や当館又は外務省海外安全ホームページを御確認いただくなど、自らの安全確保のための情報収集に心掛けてください。

2. 一般犯罪の傾向

(1) 概要

イランでは、犯罪発生件数に関する統計が公表されていませんが、各種報道によると、日常的に一般犯罪が発生しているものと考えられます。邦人に対する主な被害として、強盗（偽警察官による強盗、けん銃及び刃物を使用した強盗等）、窃盗（ひ

ったくり、スリ、空き巣、忍込み等)等の事件が発生しております。また、観光客の少ない地方都市において、外国人女性の一人旅を狙った性犯罪が発生していることから、地方都市においては、女性の単独行動は極力控えるなどの注意が必要です。

最近の一般犯罪に関する報道は以下のとおりです。

○ 7月5日付の報道によると、テヘラン市東部を中心に4年前から200件近く強盗行為を行っていた4人組が逮捕された。犯人らは2台のバイクを用いて通行人を襲い、ナイフ等で激しい暴行を加えて金品を強取していた。既に男らの裁判は結審しており、4人組のリーダー格である25歳の男には死刑判決が確定している。

○ 7月10日付の報道によると、テヘラン市内において、6か月間に渡り被害女性を脅迫し金品を脅し取っていた男女2名が逮捕された。

被害女性は6か月前(1月頃)、犯人の男女らが運転するタクシー(種別不明)に乗車したところ、犯人らは突如ナイフで被害女性を脅迫し、金品を全て強取した。

その後犯人らは被害女性を裸にして写真を撮り、被害を通報したらSNSに写真をばらまくと脅し、その後3回に渡って画像により女性に金品を要求した。

女性は2度の脅迫には応じて金銭を支払ったものの、3回目の要求があった際に警察に通報し、犯人らは検挙された。

○ 7月14日付の報道によると、6月中旬、テヘラン市内において、警察官の制服を着用し金品を脅し取った男が逮捕された。被害者はアフガニスタン人男性2名であり、高速道路でタクシーを拾い乗車したところ、運転手(警察官の制服を着用)が突如けん銃を向け、携帯電話及び金品を強取した。警察は検挙された男について、薬物の密売人であったと発表した。

○ 7月19日付の報道によると、7月中旬頃、テヘラン市内において、花売りを自称する者による窃盗事件が発生した。被害者は中年の女性であり、花売りと称し家に訪問した男に身につけていたイヤリングなどの宝飾品を取られた。警察は、同様の被害申告が5件あったとして犯人を捜索している。

○ 7月26日付の報道によると、7月24日、第163警察署(日本大使館直近)の警察官が連続携帯電話引ったくり犯を検挙した。警察官らはパトロール中に怪しい2人乗りのバイクを発見、職務質問を実施しようとしたが逃走したため、上空に威嚇射撃を行い、犯人らを停止させた。その後の捜査により犯人らはこれまで50台の携帯電話を盗み、乗っていたバイクについても盗難品であることが明らかとなった。

○ 8月11日付の報道によると、8月10日、イラン警察が第47回目の一斉取締をテヘラン市内で行い、548名(大半が窃盗犯)が検挙され、スマートフォンなど2,768件の盗品が押収された。検挙された者の中には、3秒で車両を盗めると主張する者や子供にナイフを突きつけてスマートフォンを脅し取る犯行を繰り返していた者が含まれていた。

○ 8月26日付の報道によると、テヘラン市内でバイクを用いて歩行者等の携帯電話のひったくりを繰り返していた2人組の男が検挙された。警察の発表によれば、男らは通話中の歩行者や運転手を狙って犯行を繰り返し、これまで90人の被害者がいることが明らかとなった。

- 8月28日付の報道によると、テヘラン市内で若い女性に薬を盛り暴行や窃盗を繰り返していた2人組の男が検挙された。男らはインスタグラムで仲良くなった女性（被害者は少なくとも25歳～27歳の3人）と車で外出し、薬物を盛ったジュースを飲ませて昏睡状態にし、犯行を行っていたと報じられた。
- 9月8日付の報道によると、9月7日、イラン警察は第48回目の一斉取締をテヘラン市内で行い、601名（大半が窃盗犯）を検挙し、1,462件（1,600億リアル相当）の盗品を押収した。また、別途、小銃5丁、ナイフ64本、麻薬52キロ及び密輸品55,200万トン等も押収した。
- 9月9日付の報道によると、9月7日午後9時頃、テヘラン市内において、スマートフォンの窃盗未遂事件が発生した。男性が帰宅途中に歩きながらスマートフォンで通話をしていた際に、3台のバイクに乗った6人に囲まれ、そのうち1人から首元にナイフを突きつけられ、スマートフォンを渡さなければ殺すとの脅迫を受けた。犯人グループは男性がスマートフォンを渡すとすぐに逃走した。この男性は警察官であったため拳銃を所持しており、空に向けて3回発砲し、発砲後、驚いた犯人グループの1人がバイクから落ち頭を強く打ち死亡した。
- 9月11日付の報道によると、9月上旬、インスタグラムに「儲かる骨董品ビジネス」と掲載された広告を見た女性が、広告主の男と会い、勧められたコーヒーを飲んだところ、意識を失い、強盗被害にあった。男は、女性が自殺を試みたように見せかけ逃走した。なお、警察はこの事件の捜査開始後、同様の事件の男性被害者を発見したが、犯人は見つかっておらず、現在も捜査中である。
- 9月15日付の報道によると、テヘラン市内において、タクシーに乗車したアフガニスタン人を銃で脅迫し金品をだまし取っていた3人の犯人グループが逮捕された。
このアフガニスタン人は、午後8時頃にアーザーディ広場においてタクシーに乗車したところ、先に乗車していた2人により拳銃のようなもので脅されるとともに暴行を加えられ、携帯電話、現金及び銀行のキャッシュカード（暗証番号を含む）を盗まれた。また、盗まれたキャッシュカードにより2億リアルを使用された。なお、この犯人グループは、他に同様の手口で4件の犯行を認めた。
- 9月25日付の報道によると、9月4日、警察はテヘラン市内において、盗難された2台のスマートフォンを所持していた窃盗犯の男を検挙した。男はスマートフォンの窃盗を繰り返していた犯人で、現在のところ15人の被害者がおり、警察は引き続き犯人の写真を公開し、被害申告を呼びかけている。

(2) 邦人被害事案

第2四半期中における邦人被害の報告はありません。

3. テロ事件等発生状況

(1) テヘラン市内

第2四半期中、テヘラン市内においてテロ事件等の発生はありません。

なお、テヘラン市内では、平成29年6月7日に発生したI S I Lによるテロ以降、テロ関連事件の発生は報じられておりませんが、令和2年度第4四半期中（令

和3年2月24日)には、テヘラン市南部の高速道路の料金所において、リモート式自爆ベストを用いてテロを実行しようとした男が逮捕された旨報じられております。

(2) 北西部及び西部イラク国境付近

北西部及び西部イラク国境地域では、クルド人独立国家の建設を目指す「P J A K (クルド自由生活党)」等による治安部隊等を標的としたテロが散発しており、本年9月には革命ガードが報復として隣接するイラク・エルビルのクルディスタン地域を砲撃する事案が発生しております。最近では、以下の事件が報じられました。

- 7月27日付の報道によると、時期不明なるも、革命ガード陸軍は西アゼルバイジャン州ブーカンにてテロ集団を壊滅した旨発表した。発表によると、3名で構成された同テロ集団は破壊工作等を目的として北西部国境から侵入を試みましたが、革命ガードに発見され、2名が殺害、1名が拘束された上、多数の武器弾薬等が押収された。また、本件に関連し、同テロ集団を救出しようとした3名が革命ガードに逮捕された。
- 8月29日付の報道によると、時期不明なるも、西アゼルバイジャン州マハバードにて、民兵組織バシジの地元司令官が自宅前にてテロリストに銃撃され死亡した。
- 9月1日付の報道によると、時期不明なるも、革命ガードがクルディスタン州サルヴァバードにて、反体制派組織を摘発し、同組織戦闘員複数人を殺害し、装備、弾薬を押収した。
- 9月9日付の報道によると、9月8日、革命ガードは火砲とドローンをもって、イラク・クルディスタン地域エルビル北部に所在するテロリスト拠点に対する軍事作戦を実施した。革命ガードの声明によると、革命ガード航空宇宙軍は、同陸軍の支援を受け、7発の短距離ミサイルをもって、テロリストの本部施設や訓練センター等を砲撃した。

(3) 南東部パキスタン国境付近

南東部パキスタン国境地域には、「ジェイシュ・アルアドル」、「アンサールル・フォルガン」と称するバルーチ系スンニ派反政府組織等が存在し、同組織らによる治安部隊等を標的としたテロが散発しておりますが、最近も以下の事件が報じられました。

- 7月24日付の報道によると、7月23日、シスタン・バルチスタン州の国境地帯のハーシュ市において、革命ガードと犯罪集団が交戦し、革命ガード陸軍に所属する隊員4名が死亡した。
- 7月28日付の報道によると、同日、革命ガード陸軍はシスタン・バルチスタン州サラバーンの国境地帯にて、34丁のけん銃の密輸を阻止したと公表した。革命ガード陸軍は、これらのけん銃はテロ組織が南東部地域の不安定化のために使用する目的のものであったと説明した。

(4) 南西部

南西部には、「アル・アフワーズ」と称するアラブ系反政府組織等が存在し、過去同組織らによる治安部隊等を標的としたテロが発生していますが、最近も以下の事件が報じられました。

- 7月26日付の報道によると、同日、ファールス州司法部は、情報省と警察の共

同作戦によりファールス州にて11名、東部及び西部の州で計25名のテロ組織構成員が逮捕された旨公表した。発表によると同テロ組織は海外の複数の情報機関から金銭的支援等を受け、国内で同時多発的なテロを実行する計画を有しており、拘束した構成員からは多数の武器弾薬が押収された。

- 9月27日付の報道によると、9月26日、フーゼスタン州報機関当局は同州内で破壊工作を企図していた反政府集団を摘発し、複数の武器を押収した。

4. 抗議行動発生状況

令和元年11月15日、イラン政府がガソリン価格の引上げを発表したことに伴い、イラン各地において抗議行動が発生しました。令和3年度第2四半期中には、テヘラン市内やフーゼスタン州をはじめとした複数の州において、賃上げ、労働待遇改善、年金増額等を訴える抗議行動が散発的に発生したほか、7月には水不足問題に端を発したフーゼスタン州の抗議行動がテヘラン市ほか他州にも波及し、発端となったフーゼスタン州ではインターネットの通信遮断が確認されました。今後も経済制裁や新型コロナウイルスの影響による経済状況悪化に伴う抗議行動の発生や、地方において発生した抗議行動がテヘラン市を含む各地に飛び火する可能性は否定できませんので、抗議行動関連の動向には引き続き注意が必要です。

5. 誘拐・脅迫事件発生情報

(1) 誘拐事件

第2四半期中、外国人が誘拐事件の対象となったとの情報はありません。

(2) 脅迫事件

第2四半期中、外国人が脅迫事件の対象となったとの情報はありません。

6. 日本企業の安全に関わる諸問題

現時点では、当地における日本企業及び外国企業を対象とした脅威は特段見られません。ただし、上述のとおり、今後、国内各都市で発生する抗議行動が、テヘラン市を含む各地に飛び火する可能性は否定できないため、抗議行動関連動向には引き続き注意が必要です。冒頭に記載したとおり、定期的に最新の報道や当館又は外務省海外安全ホームページをご確認いただくなどして、自らの安全確保のための情報収集を心掛けてください。